

釧路川流域委員会（第11回）議事要旨

- 日時：令和4年8月30日（火）14:00～16:00
- 開催場所：標茶町コンベンションホールういず（WEB開催併用）
- 出席者：早川委員長、中村副委員長、金子委員、川尻委員（WEB）、神田委員、鈴木委員、照井委員（以上7名）※委員長、副委員長以降の順は五十音順
- 議題 1. 釧路川流域委員会について
2. 釧路川流域の現状と課題
3. 釧路川水系河川整備計画の点検のポイント

■議事要旨

議事に入る前に、委員長の選出が行われ、早川委員が推薦され承認された。
また、副委員長は、早川委員長より中村委員が指名され承認された。

1. 釧路川流域委員会について
特段意見なし。

2. 釧路川流域の現状と課題

【委員】

- ・ 地震津波対策における新釧路川の昭和樋門の遠隔操作について、停電時はどのように操作するのか。

【事務局】

- ・ 昭和樋門については、自家発電が設置されているので、電源の供給は可能となっている。また、Jアラートも設置されているので、大規模地震発生時にはJアラートでも閉扉の対応は可能となっている。

【委員】

- ・ 屈斜路湖のCOD75%値が環境基準を超過している原因及びpHが酸性から中性になっている原因は何か。

【事務局】

- ・ COD75%値は平成初期（H3年）から上昇が見られるが、原因については把握できていない。pHについても酸性から中性に変化がみられる。生物の生息環境としては良くなったのではないかと考えている。

【委員長】

- ・ 過去の文献では、1938年に発生した地震を契機にpHが低下した。昭和60年代以降にpHが上昇し中性に戻ったが、その原因についてはよくわかっていない。魚類の生息に

は良い環境になったと考えられるが、今後も中性で推移するかはわからない。

3. 釧路川水系河川整備計画の点検のポイント

【委員】

- ・ 標茶町は浸水の影響を受けやすく、市街地の標高があまり高くないことから、住民の安全な避難場所確保に協力頂きたい。
- ・ 標茶町は有数の酪農地帯で、過去の浸水で牛乳の配送に影響が出たことがあるので、道路の冠水対策を願う。
- ・ 酪農における糞尿の処理について、気候変動による雨量の増大に伴う糞尿の流出防止について我々も対策しているが、国や道、町にも協力をお願いしたい。

【事務局】

- ・ 国として上記の対策についてできることもあると思うので、町やJAと協力して検討していきたい。

【委員】

- ・ 屈斜路湖のpHが酸性から中性になっている原因について、火山性の噴出物や温泉水の流出減少ではないかと考えたが、詳細は不明とのこと、原因究明が大事である。今後また酸性に戻る可能性もあり、自然環境ではpHによる河川湖沼の生態系への影響は大きいので、モニタリングも重要である。

【委員長】

- ・ 論文は発表されているが原因は把握されていない。北海道で毎年調査はしているようだが、湖内の水質調査は行われていないので、機会があれば詳細な調査が必要ではないか。

【委員】

- ・ 北海道立総合研究機構で調査されていたように思う。大きな湖のpHが変わったというのは大きな影響なので、各機関での調査が大事だと思う。

【委員】

- ・ 改めて気候変動による北海道への影響が深刻との印象を受けた。気になった点として、最近ソーラーパネルがたくさん設置されてきており、再生可能エネルギーの点では良いが、雨水の浸透を妨げるのではないかと懸念している。そのような調査はされているのか。
- ・ 今後、堤防の法勾配を3割以上にする必要があるのであるとのことだが、現在の河川敷地で対応できるのか。敷地が不足する場合、用地買収や、施工上の工夫で対応するのか。
- ・ 整備計画点検のポイントは大変重要だと考えている。治水対策を流域全体で行ってい

く流域治水も大事で、住民を巻き込みながら自分事としてとらえてもらうことが重要と考える。

【事務局】

- ・ ソーラーパネルの設置による雨水浸透への影響は具体的に把握していないが、アスファルト舗装の様に地面を覆うわけではないので、雨水は浸透すると思われる。可能な範囲で調べる。
- ・ 堤防整備に伴う敷地不足については、用地買収が可能であれば買収、困難な部分は堤防法尻の処理を工夫するなど技術的に対応したい。

【委員長】

- ・ ソーラーパネル設置による影響は、山地などに設置する場合には雨水による土砂流出が考えられ、設置する場所がポイントになると思われる。

【委員】

- ・ リスクの高い地域からの避難について、橋梁を通過して右岸側の高い箇所に行くのはリスクがある。どのような対応策があるのか。高い橋を架けるのか。

【事務局】

- ・ 標茶町のコミュニティタイムラインの検討会では、住民の方々も河川水位が上がると危険を伴うので早く避難する必要があるという認識を持っていた。また、釧路川の水位が上がる前に道路が冠水することもあるため、早めの避難を心がけていきたいとの意見だった。ハード対策については自治体とも相談しながら考えていきたい。

【委員長】

- ・ 橋を渡って避難するのはリスクが高いと思うので、左岸に高台を作るなど、標茶町と連携して対応してほしい。

【委員】

- ・ 左岸から右岸への避難について、出水が発生すると単に橋梁が危険という評価ではなく、事前に橋梁の耐力評価を行った上で、水位や流量に応じた橋の情報を道路管理者と連携して、避難する住民へ情報提供する枠組みが必要である。

【事務局】

- ・ 標茶町は水害が多いこともあり、様々な機関が参加して水害タイムラインを作成している。道路管理者も参加しており、情報共有を行っている。今後は河川管理者が行っている河川横断測量成果を踏まえて、橋脚の河床洗堀の状況についても情報提供をしていきたい。

【委員】

- ・ ソフト対策はタイムラインを含めて連携がとれているが、ハード対策の連携もしっかり行われていることが前提である。ハード対策も連携して進めてほしい。

【委員】

- ・ 堤防の土を良質な土へ入れ替えることはできないのか。

【事務局】

- ・ 遠くから良質の堤防材料を運んでくるのは費用を要するため、周辺地域から得られる土を使って整備を進めることを基本と考えている。

【委員】

- ・ 釧路周辺で取れる土は粘着質でシルト分を多く含む特徴的な土である。これをうまく使って街を守る必要がある。ここ数年の堤防の整備断面の検討成果は学会でも注目されており、科学的・工学的見地からもしっかりとした根拠を持った堤防整備が進められるのではと考えている。

【委員】

- ・ 気候変動によって災害リスクが増大しており、河川整備が必要だと感じている。流域治水も展開していると聞いているが、開発局の河川区域だけでなく集水域や氾濫域等の周辺との連携が必要である。河川整備計画を立てる中でも関係機関や地域住民と連携しないと具体性がなくなる。議論を繰り返していく中で連携が図られたらと考える。
- ・ 気候変動に伴って、釧路湿原等の自然環境の重要性、減災・防災、グリーンインフラとしての価値も注目されている。釧路川流域にある未利用地なども遊水地などとして減災に役立てるように検討してはどうか。

【事務局】

- ・ 流域治水、グリーンインフラを進めていく中でいろいろな可能性について、今後考えていきたい。

【委員】

- ・ 気候変動により流量が1.2~1.3倍になるが、年平均想定被害額はどのように算定しているのか。また、河川整備計画の見直しで便益がどの程度上がり、被害額がどの程度軽減するのか。ソフト対策の効果はどのように見込むのか。

【事務局】

- ・ 次回以降、説明させていただきたい。

【委員】

- ・ 標茶町において近年出水で高い水位を記録している。平成30年、令和2年はいずれも3月で、まだ雪が降る時期である。土壌が凍結しているため、流出しやすく、北海道特有の事象であるため、しっかり研究して他地域でも参考になるのが望ましい。
- ・ 気候変動の全国会議では温暖化が2℃上昇に抑えられない懸念があるため、2℃上昇よ

り、4℃上昇への対応が必要ではないかと聞いているため、対応を検討してほしい。

【事務局】

- ・ 融雪期の出水は釧路川の特徴なのでしっかり考えていきたい。気候変動への対応については、まずは2℃上昇を対応に河川整備を進めていくことを考えており、それ以上は超過洪水としてソフト対策もあわせて進めていきたい。4℃上昇についても今後考えていきたい。

【委員長】

- ・ 本日は、河川整備計画の点検として整備計画変更の必要性についてご審議いただいた。
- ・ 温暖化の影響による気候変動により、パリ協定で2℃上昇に抑えることを目標にしているが、2℃上昇の予測でも釧路川水系ではリスクが大きく上昇する。
- ・ 平成30年3月、令和2年3月には釧路川の特徴でもある融雪出水が発生しており、内水氾濫に対する対策も必要である。
- ・ 平成28年8月洪水では標茶市街周辺の堤防の法面が被災しており、釧路川堤防技術検討委員会の提言を踏まえ、堤防の安全性を向上させる必要がある。
- ・ これらを踏まえると、気候変動を踏まえた目標や釧路川流域における近年洪水を踏まえた整備メニューを設定する必要があり、現行の河川整備計画の見直しが必要と考えられる。
- ・ 次回以降は、具体の目標などについて議論していきたい。

【事務局】

- ・ 次回委員会では、本日頂いたご質問について回答させていただくとともに、ご意見を踏まえた釧路川水系河川整備計画（原案）について提示し、説明させていただきたい。